



a



b



c



d



e

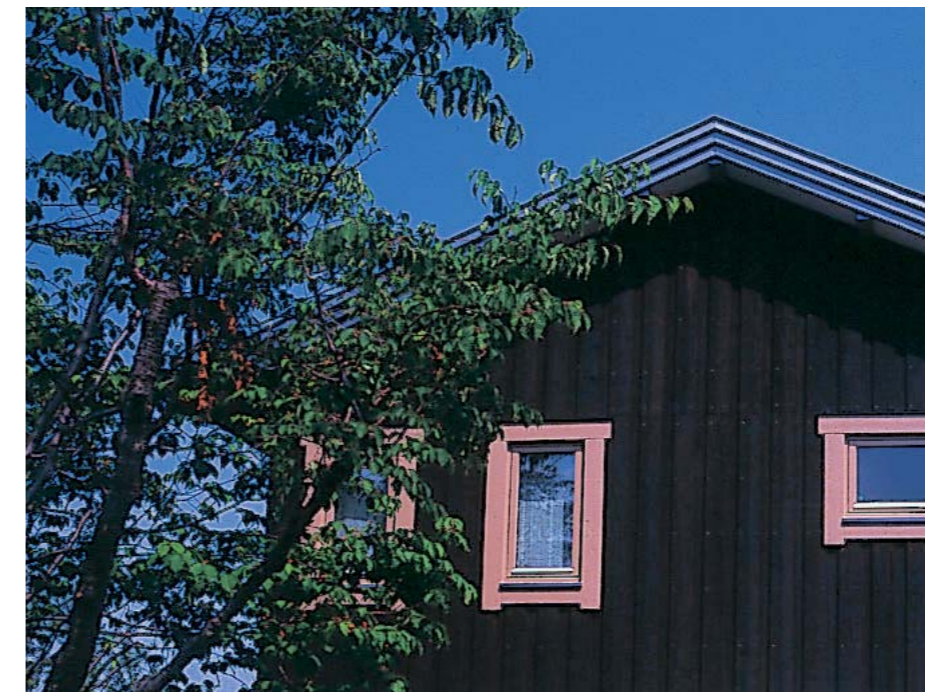


f

| | |
|----------------------|------------------|
| ビオプラス西條デザイン | No. IO |
| BIOPLUS SAIJO DESIGN | model house |



道南スギをドイツリボス社の自然健康塗料で仕上げた総板張りの外観。



札幌市 K 邸
 工法 / 在来工法
 標準工期 / 120日
 プラン / フリープラン

写真 © GINÔ PHOTO WORKS

- a ステンレス天板とアカマツムク材の巾はぎ板でつくったオリジナルキッチン。
- b 床のアカマツと天井のトドマツの木肌を活かした明るいリビング。
- c 浴室用の炭化コルクタイルと、青森ヒバで仕上げたバスルーム。
- d 洗面所などの水廻りは岩手産アカマツのフローリングで温かな感触に。
- e 寝室のベッドもインテリアに合わせたオリジナルデザイン。
- f 2階フリースペースはスタディコーナー。デスクや本棚もムク材で製作。

自然素材でナチュラルデザインの住まい

北海道らしい地元の自然素材にこだわった、ナチュラルデザインの住まいを。本州出身で、鼻炎アレルギーに悩まされていたご主人。快適に暮らせる住まいを実現するために、相性の良い自然素材選びが重要だった。幸いにも、北海道のスタンダードな建築材料であるトドマツは、本州のスギやヒノキに比べて木の香りが控えめで、過敏体質の人にも受け入れやすい材料のひとつである。スギと同等の強度と比重のトドマツは、空気をいっぱい含んでいて、手をあてるとほんのり温かさが伝わってくる。

構造は北海道産のトドマツとエゾマツで組み上げ、仕上材に岩手産アカマツのフローリングと道産トドマツの天井羽目板がたくさん使われている。また、地域の古紙を回収し再生させたセルロースファイバーの断熱材と、木材の皮やチップ材を再生した木質断熱板による外貼り負荷断熱とのW断熱材で、次世代仕様の高断熱住宅を実現。

珪藻土の土壁仕上げは、施工参加のセルフ仕上げでコストも軽減しながら、愛着のある快適な空間を手に入れることができる。珪藻土といっても一般的に使われている石灰ベースではなく、北海道独特の粘土質の珪藻土と、火山灰を合わせた現代版の土壁仕上げ材。粘土質のため、接着剤を添加せずに固まり、柔らかな仕上がり感と、優れた呼吸・調湿機能を発揮してくれる。

現場施工で使う接着剤を減らすことは、とても大切なポイントだ。接着剤を含む建材を極限まで排除し、現場施工での木材用接着剤には天然ミルクカゼインの接着剤をチョイスして、毎日使う分だけをつくって使用。

家を構成する大部分を地域の自然素材にこだわったことで、快適さと暖かさを五感で感じるナチュラルデザインの住まいとなった。

有限会社 ビオプラス西條デザイン

本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
 Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581
 伊達支店:〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
 Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139
 www.saijo-d.com

©「Natural Lifestyle えこすた」連載中(P48~P51)

資料請求番号 | 10

くわしい企業情報は「北海道ビルダーINDEX」をご覧ください。